

第2回大阪市結核対策評価委員会 説明資料

- I DOTS 実施状況と失敗・脱落中断割合の推移
- II 結核発病ハイリスク者に対する結核健診および健康教育
 - A. 外国人対策（日本語学校）
 - B. 高齢者対策（老人保健施設）
 - C. 高齢者対策（老人福祉センター）
 - D. 居宅介護事業等連絡会（地域包括支援センター）への健康教育
- III 西成区特区構想における結核健診
- IV 大阪市 肺結核の MDR（XDR）・再治療の状況
- V 大阪市における外国人結核患者治療支援
 - A. 外国人結核の背景
 - B. 外国人結核患者への医療通訳派遣事業
 - C. 外国人結核患者に帰国先への紹介事業
- VI BCG 接種率の推移

DOTS 実施状況と失敗・脱落中断割合の推移

1 DOTSタイプ分類方法

I. 院内 DOTS	入院中に内服終了した患者
	※退院後治療されていない患者で、入院中の死亡・転出・自己退院などの脱落中断者（連絡不可）を含む
II. 地域 DOTS	退院後に内服終了した患者
	Aタイプ : 週5回以上
	Bタイプ : 週1回～2回
	Cタイプ : 月1回～2回以上
III. 未実施	服薬期間中に、トータル2か月以上 DOTS 未実施期間がある患者
	※院内 DOTS から地域 DOTS 移行期に、地域 DOTS を拒否した者（連絡可能）を含む
IV. 不可	重篤な状態や死亡後 TB 判明等、TB 治療できなかった患者

- ・ ビジブルの「DOTS タイプ」欄を集計。
- ・ 2種類以上のDOTSタイプを実施した場合は、回数の少ないタイプとした。ただし、回数の少ないタイプが1ヶ月以内の場合は、回数の多いタイプとした。

2 医学的・社会的リスク項目

医学的リスク項目	社会的リスク項目:
1 薬剤耐性(H・R・HR)	1 登録時住所不定
2 糖尿病	2 治療中断歴
3 免疫抑制剤・抗がん剤使用	3 服薬協力者なし(単身者)
4 副腎皮質ホルモン剤使用	4 介護の必要な人
5 人工透析	5 アルコール・薬物依存
6 HIV/AIDS	6 精神疾患あり(疑い含む)
7 肝障害	7 経済的な問題
8 副作用	8 病識・理解力低い
	9 不規則な生活
	10 その他

3 新登録肺結核患者（死亡・転出・治療中を除く）

(1) 塗抹陽性肺結核

	H22 年	H23 年	H24 年
院内 DOTS	54 (16.8%)	44 (12.6%)	37 (11.0%)
Aタイプ	21 (6.5%)	19 (5.4%)	37 (11.0%)
Bタイプ	226 (70.2%)	259 (74.0%)	227 (67.6%)
Cタイプ	19 (5.9%)	26 (7.4%)	35 (10.4%)
未実施	2 (0.6%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)
不可	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	322 (100%)	350 (100%)	336 (100%)
失敗・脱落中断	20/410 (4.9%)	17/350 (4.9%)	8/336 (2.4%)

(2) 塗抹陰性肺結核（死亡・転出・治療中を除く）

	H23 年	H24 年
院内 DOTS	70 (18.8%)	42 (10.9%)
Aタイプ	10 (2.7%)	41 (10.7%)
Bタイプ	96 (25.7%)	109 (28.4%)
Cタイプ	167 (44.8%)	164 (42.7%)
未実施	30 (8.0%)	27 (7.0%)
不可	0 (0.0%)	1 (0.3%)
計	373 (100%)	384 (100%)
失敗・脱落中断	43/373 (11.5%)	40/384 (10.4%)

4 新登録 LTBI（死亡・転出・未治療を除く）

	H23 年	H24 年
院内 DOTS	0 (0.0%)	5 (2.1%)
Aタイプ	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Bタイプ	23 (9.7%)	35 (14.4%)
Cタイプ	142 (60.2%)	134 (55.1%)
未実施	71 (30.1%)	69 (28.4%)
計	236 (100%)	243 (100%)
脱落中断	34/236 (14.4%)	24/243 (9.9%)

結核発病ハイリスク者に対する結核健診および健康教育

A. 外国人対策（日本語学校）

大阪市にある日本語学校： 34校

うち専修学校（健診義務あり）： 13校

その他（株式会社立など）： 21校

1. 結核健診

平成23年度より、健診義務の対象となっていない者（専修学校以外および専修学校のうち短期コースの者）に対する健診を実施

(1) 健診結果（重複受診者、日本出生、出身国不明を除く）

2011～13年の健診実施校	専修学校	7校/13校（53.8%）
	その他	12校/21校（57.1%）

受診者数 5111名

・2回目以降の受診者 225名

・日本出生および出身国不明 20名

残る 4866名を分析対象とした。

①性別

男性：2599、女性：2265、不明 2

②年齢（平均±標準偏差）

23.3±4.3歳

20代が 74.7%

③出身国

中国：54.3%、韓国：19.9%、ベトナム：15.3%、インドネシア：2.1%、タイ：1.4%

その他：7.0%

日本より罹患率の高い地域（WHO report 2013）出身者は 4704名（96.7%）

④入国からハイリスク健診受診までの期間

平均±標準偏差： 164.5±199.2日

中央値（範囲）： 67(3-3877)日

⑤患者発見（3年間合計）

要精密検査： 73名（1.5%）

活動性結核患者数： 19名（発見率 0.4%）

⑥発見された結核患者（結核以外の受診者との比較）

項目	結核 (n=19)	結核以外 (n=4847)
年齢の中央値（範囲）	23（18-29）	23（14-70）
性別 男性	14（73.7%）	2586（53.4%）
女性	5（26.3%）	2261（46.6%）
入国～健診（日）		
中央値（範囲）	137（17-401）	66（6-3877）
呼吸器症状 なし	16（84.2%）	4325（93.1%）
あり	3（15.8%）	321（6.9%）
結核既往 なし	18（94.7%）	4643（99.3%）
あり	1（5.3%）	35（0.7%）
過去の胸部 X 線 なし	8（44.4%）	1777（38.2%）
あり	10（55.6%）	2876（61.8%）

⑦発見された結核患者の背景

抗酸菌検査（不明 2 名除く）

塗抹(+)培養(+)： 2 名（11.8%）（2 名とも空洞あり）

塗抹(-)培養(+)： 3 名（17.6%）（すべて空洞なし）

出身国：

中国 12 名（63.2%）、ネパール 3 名（15.8%）、韓国 2 名（10.5%）、
フィリピン 1 名、ベトナム 1 名（それぞれ 5.3%）

2. 健康教育

平成 23 年度より、学校関係者および学生に対し健康教育を実施

年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
実施校数*	5 校	3 校	3 校
実施回数	5 回	4 回	3 回
受講者数（職員）	29 名	5 名	35 名
（生徒）	36 名	83 名	69 名
（全体）	65 人	88 人	104 名

* 重複を除くと 7 校

（内容）世界の結核事情、日本における外国人結核の現状をまじえ、結核の基礎知識について日本語で実施

（講師）保健師

B. 高齢者対策（老人保健施設）

大阪市にある老人保健施設： 63 施設

1. 結核健診

平成 23 年度より、老人保健施設入所者に対する健診を実施

(1) 受診者の背景

①性別

男性：946（23.3%）、女性：3116、計 4062 名

②年齢（平均±標準偏差、不明 1 名除く）

84.4±8.5 歳

③患者発見率（3 年間合計）

受診者数： 4062

活動性結核患者数： 3

患者発見率： 0.07%

(2) 発見された結核患者の背景

年 齢	性 別	呼吸器 症状	その他 症状	結核治療歴	健診日	健診時 病型	菌情報	治療 成績	DOTS
90	女	なし	なし	なし	H23.11/16	bⅢ2	S(2+)C(+)	HRE 結核外 死亡	A 院内
78	女	なし	なし	なし	H24.5/29	bⅢ1	S(-)C(+)	HREZ 治療完了	A 施設
68	女	あり (痰)	あり (発熱)	H15.6月~H16.4月 bⅡ3, S(-)C(+) 耐性無, HREZ 治療	H24.6/7	bⅡ2	S(-)C(-)	HRE 結核外 死亡	A 院内

2. 健康教育

平成 23 年度より、老人保健施設の職員に対し健康教育を実施

年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
実施施設数	16 施設	23 施設	23 施設
実施回数	16 回	25 回	26 回
受講者数	505 名	735 名	663 名

(内容) 大阪市の結核の現状、高齢者結核の特徴や治療、職員の健康管理

(講師) 保健師

C. 高齢者対策（老人福祉センター）

大阪市老人福祉センター： 26 施設

1. 結核健診

平成 25 年度より、老人福祉センターにおいて健診を実施（15 施設）

対象： センターに集う 60 歳以上の市民

(1) 受診者の背景

①性別

男性：115（29.9%）、女性：270、計 385 名

②年齢（平均±標準偏差）

75.2±5.8 歳

③健診結果

要精検数： 20（5.2%）

活動性結核患者数： 0（平成 26 年 3 月 4 日現在）

④結核既往あり（不明 5 名を除く）： 31 名（8.2%）

⑤呼吸器症状あり（不明 1 名を除く）： 89 名（23.2%）

⑥過去の胸部 X 線あり（不明 1 名を除く）： 80 名（20.8%）

うち 1 年以内の実施： 71 名（92.2%）

2. 健康教育

平成 25 年度より、老人福祉センターに集う高齢者に対し健康教育を実施

実施施設数： 21 施設

実施回数： 21 回

受講者数： 436 名

（内容）大阪市の結核の現状、結核の基礎知識、高齢者結核の特徴

（講師）保健師

D. 居宅介護事業等連絡会（地域包括支援センター）への健康教育

平成 25 年度より、地域包括支援センター職員に対し健康教育を実施

実施施設数： 4 施設

実施回数： 4 回

受講者数： 152 名

（内容）大阪市の結核の現状、高齢者結核の特徴や治療、職員の健康管理

（講師）保健師

西成区特区構想における結核健診

1 健診の種類

- ★保健福祉センターで行われる健診：毎日健診・検診車(CR車)を使つての健診
- ★保健福祉センター分館で行われる健診
- ★あいりん地域内健診
- ★医療機関委託健診・65歳以上生活保護者・北東部一部地域住民

2 保健福祉センターで行われる健診

毎日健診：平成24年10月からほぼ毎日実施

- ・各区で実施している結核健診(15歳以上の住民対象、月1回)
- ・生活保護新規申請者
- ・生活保護受給者及び65歳以上の区民

生活保護受給者については登録医療機関(主治医)での健診を勧奨し、主治医のない者を中心に毎日健診を勧奨

検診車(CR車)を使つての健診

平成24年度：地域毎にあらかじめ決められた場所に集合し、区役所まで送迎
保健福祉センター内で結核健診と健康教育を実施

平成25年度：地域で集まっている場所(ふれあい喫茶など)へ検診車を配車
健診及び健康教育を実施(平成26年1月より開始)

3 保健福祉センター分館で行われる健診

施設入所時健診：ケアセンター、救護施設入所時、臨泊等

結核療養相談：医師との相談の結果、胸部X線撮影が必要な場合

その他：特掃更新時、アパートで勧奨された、サポートティブハウスで勧奨された等

4 医療機関委託健診(平成25年2月から開始)

対象：65歳以上生活保護受給者、15歳以上の北東部一部地域住民

委託医療機関数：当初37か所 ⇒ 現在47か所

(あいりん地域内2か所) (あいりん地域内5か所)